

MICROTEMP® 温度ヒューズ 1次加工品の例

型式番号の説明
 例 E4A51072C →

E ↓ 表1参照、規格タイプ
 4 ↓ 電気定格、内部構造
 A ↓ E,G:国際規格/S:日本の規格のみ
 51 ↓ 表3参照、認証マーク、めっき、リード長さ、Tm
 072C ↓ 表4参照、TTTC:公称動作温度(°C)

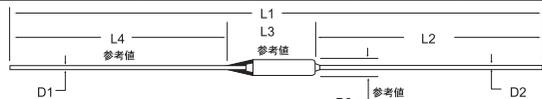
表はすべて例です。見積り依頼書依頼書にてお問い合わせ下さい。表2参照、ケース材料、リード材料、めっき(A,C,D,E,F,H)
 2011年9月よりGシリーズも(E,Sと同様に)ELV/RoHS対応品として出荷可能になりました。

表1 電気定格	AC(交流)定格				DC(直流)定格			
	PSE	UL/CSA	VDE	CCC,KETI	UL,CB	S JET,CB	PSE準拠	
E4/G4 シリーズ	250V 10A	250V 10A など	250V 10A など	250V 10A	24V 5A	—	—	
S4 シリーズ	250V 10A	—	—	—	—	16V 30A	—	
E5/G5 シリーズ	250V 15A	250V 20A など	250V 20A	250V 20A	—	—	—	
S5 シリーズ	250V 15A	—	—	—	—	申請中	32V16A 24V30A	
E7/G7シリーズ	250V 5A	250V 5A など	250V 5A	250V 5A	24V 5A	—	—	
S7 シリーズ	250V 7A	—	—	—	—	16V 15A	24V 7A	
E8/G8シリーズ	250V 25A	277V 20A など	250V 25A	250V 25A	—	—	—	
S9 シリーズ	250V 15A	—	—	—	—	16V 50A	—	

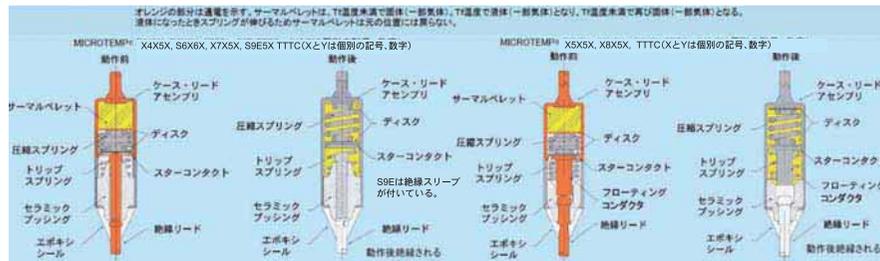
全て、抵抗負荷で表示しています。DC定格は、必要により用途と温度毎に評価して登録していますので全品番ではありません。

表2	絶縁リード(D1)	ケースリード(D2)	適用	単位 mm
A	銅φ1, 銀めっき	銅φ1, 錫めっき	X4A,X5A,X8A,Z6A	X: E,G,S
C	銅φ1, 銀めっき	鉄φ1, ニッケルめっき	X4C,X5C	X: E,G,S
D	銅φ1, 銀めっき	銅φ0.57, 錫めっき	X4D,X5D	X: E,G,S
E	銅φ1.5, 銀めっき	銅φ1.5, 錫めっき	S9E	
F	銅φ0.57, 銀めっき	銅φ0.57, 錫めっき	X7F	X: E,G,S
H	銅φ0.57, 銀めっき	銅φ0.57, 銀めっき	S7H	

表3	寸法 (各シリーズ)	X4,X5,X8	X7	S9	認証マーク、Tm(Tmax)
50 60	L1 全長	63.8(±3.0)	—	64.3(±3.0)	50:PSE JETまたはS JETマーク 60:PSE JETマーク、表4とは別のTm温度とTm電圧を設定する場合(例:表5)
	L4 絶縁リード	14.2	—	14.7	
	L2 ケースリード	34.9(±1.5)	—	34.9(±1.5)	
	L3 ケースの長さ	14.7	—	14.7	
	D3 ケースの直径	4.0	—	4.0	
51 61	L1 全長	82.9(±3.0)	82.9(±3.0)	82.3(±3.0)	51:PSE JETまたはS JETマーク 61:PSE JETマーク、表4とは別のTm温度とTm電圧を設定する場合(例:表5)
	L4 絶縁リード	33.3	38.3	32.7	
	L2 ケースリード	34.9(±1.5)	34.9(±1.5)	34.9(±1.5)	
	L3 ケースの長さ	14.7	9.7	14.7	
	D3 ケースの直径	4.0	3.0	4.0	



マイクロテンプの特徴：マイクロテンプのサーマルベレットはTf未満では固体でTfに達したとき融点に達して液体になります。同時にトリップスプリングが接点を離します。サーマルベレットには昇華する性質の物質を使うことにより安定した融点とマイクロテンプの構造的な安全設計(フェイルセーフ)を実現しています。



X: E,G,S X: E,G,S X: E,G,S X: E,G,S 単位 °C

公称動作温度 Tf	保持温度 Th	表4 上限温度 Tm (Tmax) 500Vのとき				
		X4シリーズ	X5シリーズ	X7シリーズ	X8シリーズ	S9シリーズ
72	57	100	175	—	175	100
73	58	100	175	—	175	100
77	62	125	200	125	200	125
81	66	125	200	125	—	125
84	69	125	200	125	200	125
91	76	140	215	—	—	140
93	78	140	215	140	215	140
98	83	140	215	140	215	140
104	89	150	225	—	225	150
110	95	150	225	140	225	150
117	102	160	235	150	235	160
121	106	160	235	150	235	160
125	110	185	235	150	—	185
128	113	205	235	150	235	205
134	119	205	250	175	—	205
141	126	205	250	175	—	205
144	129	205	250	175	250	205
152	137	205	250	175	—	205
158	143	240	285	200	—	240
167	152	210	285	200	285	240
172	157	240	350	200	—	240
184	169	210	350	200	350	210
190	175	310	350	270	—	310
192	177	210	350	210	350	210
205	190	310	375	300	—	310
216	200	375	375	—	—	375
229	200	375	375	—	375	375
240	200	450	375	—	375	450

温度定格の温度は全てマイクロテンプ本体の温度であり、本体ケース底部のサーマルベレットが入っている部分の温度です。

Tf (公称動作温度)：動作するときのマイクロテンプ本体の温度です。定格動作温度ともいいます。

(公差 +0, -5°C。熱電対つきのサンプルも用意しています。)

Th (保持温度)：168時間の導通を維持できるマイクロテンプ本体の上限温度を意味します。一般の機器に取り付けられたとき、マイクロテンプ本体は(Tf-25°C)以下かつ200°C未満の温度で使われています。E8/G8シリーズでは、Th=Tf-25°C,max200°Cになります。

Tm (上限温度)：動作後の耐電圧試験で高温で耐電圧試験をするため、温度を示しています。試験方法は、この温度で10分間放置し、続けて定格電圧の2倍の電圧を2分間印加したとき短絡が無いことを確認します。急激な温度上昇や余熱によってTfを10分間超えてしまった場合を想定しています。PSE JETマークのSシリーズには本来、Tm試験が存在しませんので、設計値です。

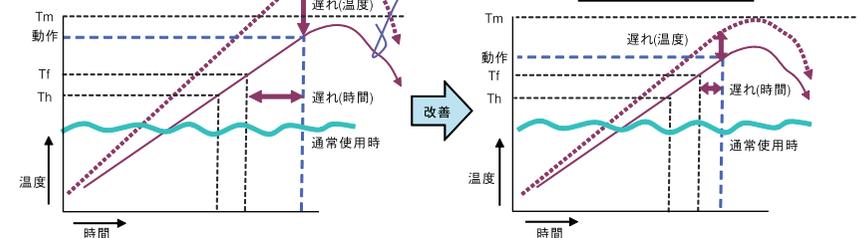


表5 S6A6X TTTC

電気定格	公称動作温度 Tf (TTTC)	保持温度 Th	上限温度 Tm (Tmax) 252Vのとき
AC126V 15A	070 ~ 240C	Tf-25°C,max,200°C	Tf+200°C